令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
家　庭	ファッション造形基礎	２	３－４

１．学習の到達目標

・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて関連する技術を身に付けるようにする。
・被服製作やデザインに関する課題を発見し、解決する力を養う。
・衣生活の充実を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	１章　衣服の構成【復習】 ２章　衣服素材の性能と選択 〈実習〉被服製作 パジャマ：ズボン 提出 ：上着 【小テスト】	・衣服の２つの形状（平面構成・立体構成）、浴衣の構成、繊維の種類や特徴を確認し、様々な衣服材料の性能を理解する。 ・洋服に応じた適切な製作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させる。 ・洋服の製作を通じて立体構成衣服についての理解を深め、基本的な知識や技術を習得する。
２学期	〈実習〉被服製作 パジャマ：上着 提出 ３章　着装 〈実習〉編み物製作 基礎編み アクリルたわし 提出 【小テスト】	・衣服の着装について、快適に過ごすための工夫やからだの保護、保健衛生的な観点、TPO への配慮などさまざまな観点から考える。 ・繊維・糸・布と、素材の違いによるそれぞれの特徴、それらの加工を理解する。 ・かぎ針の基本的な編み方を理解させ、技術を身に付ける。
３学期	マフラー 提出 【小テスト】	・完成した作品を期日内に提出させる。 ・確認テストを行い、理解度を深めさせる。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	小テスト、提出物、実習への参加などの授業態度等による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	被服に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけることができる。	被服に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を活用して適切に判断・処理し、創意工夫する能力を身につける。	被服に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的にとり組む実践的な態度を養う。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	ファッション造形基礎（実教出版）
副　教　材	なし